



退任ご挨拶 ～10年を振り返って～

小 熊 啓 一 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 前 理事 事務局長

先般6月8日（木）の定時総会にて、JEHC 理事事務局長を退任しました。

2013年6月6日に就任して丸10年、会員各位のご指導・ご支援を頂きながら務めて参ることができました。この場をお借りしてあらためまして御礼申し上げます。

10年を振り返り、とくに記憶に残る活動などを取り上げてみたいと思います。

これらの実績は、事務局員として奮闘して頂いた会員企業からの延べ24名の出向者やプロパー職員の成果であり感謝の念に堪えません。そして、まさに当センターが成長してきた証だと思っています。

① 正会員数の拡大（2013年82社⇒2017年100社超え⇒2023年（6月現在）114社）

「産業電化」に必要なエレクトロヒート技術を持つ会員企業や電力会社が、優れた電化技術や新たな導入事例を共有し発展させていく。これからも当センターから社会にこれらを発信し続けていく為、仲間（会員）は益々増やしていきたい……。

② 「省エネ大賞」（省エネ事例部門）の連続受賞

至近6年間で「経済産業大臣賞」や「資源エネルギー庁長官賞」を4回受賞しました。優れた省エネ技術（システム）の導入成果を広く発信し共有することで、「産業電化」を広め、カーボンニュートラル（CN）を進めていく、それが我々の願いです。

③ 「エレクトロヒートシンポジウム」の発展。WEB開催で入場者が4,300人に

2014年に「大田区産業プラザ」にてシンポジウムの一般公開をスタート、2019年には1日で約1,000人が会場に集まるシンポジウムになりました。その後、「コロナ禍」により「WEB開催（11/1～11/30）」に大変革し、昨年（2022年）は全国から約4,300人が本サイトに入場・視聴され、「産業電化」への注目度が実感されました。

④ 「産業用ヒートポンプ」に関する“日本で唯一の導入支援ツール”が爆発的人気に

2017年に制作した『産業用ヒートポンプ活用ガイド』（税込660円）の発刊部数累計が1万5千部を超え、2020年に新設したWEBサイト『産業用ヒートポンプ.COM』の閲覧数（PV数）が年間4万5千件に達しました。さらに、2021年に開設した『カーボンニュートラル支援講座（WEBセミナー）』も毎回100名を超える受講者となり、当センターからの情報発信が皆様のお役に立っているのが嬉しいです。

⑤ 業務用電化厨房施設の換気設備設計指針（JEHC）が国交省「建築設備設計指針（「茶本」）」に反映

「業務用電化厨房施設」は厨房内の必要換気量を減らし省エネに寄与します。2021年にこの指針が国交省の「茶本」に一部反映されました。この認知度を高める為、継続的に広報活動を行うと共に、次回（2024年）の「茶本」改訂においては更に具体的な掲載を目指しています。

⑥ 業務用厨房機器の「インターネット オブ キッチン プラットフォーム（IoK-PF）」を開発

2020年、NEDOの補助事業を活用して、食の衛生管理対応をサポートするIoTシステム（IoK-PF）を会員の厨房メーカー10社等との協働で開発。事業者による食品データの記録・保存の負荷軽減と“安全・安心”な食品提供のサポートが可能であり、利用者の拡大を望んでいます。

そして「今後の課題」として、

⑦ 「電気（エネルギー）料金の高騰」、「昨今の電力不足」、「脱炭素電源の拡大」と「産業電化の拡大」

昨今の社会的背景の中で、とくに「産業（製造）分野」においては「加熱のプロセス（工業炉等）」が伴うので、燃焼炉をすべて電化することはコスト面や効率性からも困難です。まずは、「電気」への転換が比較的し易い分野や対象、その温度帯を示して、実際の導入事例を公開・共有を図っていくことが今後、当センターに求められる役割でしょうか。

最後に……

暫くは、「顧問」（非常勤）としてお手伝いをしていますので、引き続き宜しくお願い致します。

（おぐま けいいち）